



道路環境整備を

根井 まり子さん
(小岩井)

村の道路で解消してほしいのは、第1に袋小路です。第2には団地内の道路は整備されておりますが、それに通ずるアクセス道が未整備のところが多く、チグハグです。この状況を早急に改善すべきです。

小岩井的に言えば、水害の心配のないような地域にして欲しいことと「ふうりん橋」の架け替えを早急にお願したいものです。



社会基盤・環境の整備

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 防犯交通安全対策事業141万円
・交通事故発生件数については前年から微増し、目標値を若干上回りましたが、平成21年8月27日には村内における交通死亡事故ゼロ1,000日を達成するなど、交通安全に対する数々の取り組みの成果が確実に現れています。
- 消防団等活動事業 7,059万円
・非常備消防力の維持・強化、女性消防団員を含めた消防団員の充足を図りました。
- 溶融施設管理運営事業6億972万円
・安全で計画的なごみ処理を行いました。また、廃棄物の中から資源物となる物を積極的に分別し、資源化を図りました。
- ごみ減量等住民運動支援事業609万円
・資源物の回収を行った団体に対して奨励金を交付し、住民の資源の有効利用に対する意識の高揚を図るとともに、資源の集団回収活動の促進を行いました。
- 滝沢村浄化槽設置整備補助事業 1,841万円
・合併処理浄化槽の設置を促進することにより、浄化槽設置者に快適で文化的な生活環境を提供するとともに、公共用水域の水質汚濁防止及び公衆衛生の向上を図りました。
- 村道維持管理事業 1億2,629万円
・年々増加傾向にある道路の維持管理に対する要望に対応するため、修繕に関する実施体系を標準化し、道路管理の適正化、住民福祉の向上が図られました。
- 村道除排雪事業 2億1,669万円
・村道その他村の管理する公道について適切な除雪を実施することにより冬期間における公共交通を確保し、地域住民の生活の安定が図られました。団地内除雪をマイロード支援事業(小型ロータリー除雪機貸与)により、官民役割分担を決めて、住民協働を推進しました。
- 河川維持管理事業 3,498万円
・通常管理である水門管理や環境維持業務を適正に行ない、要望のあつた河川の維持補修を予算の範囲内で実施したことで、必要最低限の河川管理を実施できました。
- 下水道整備事業3億851万円
・居住環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を目的に公共下水道の整備を促進することにより、快適で文化的な生活環境を住民に提供するとともに健全な水環境・良好な水環境の保全を図りました。

健康・福祉の充実

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 健康教育・相談事業153万円
・住民が自分自身の健康づくりができるために、正確かつ必要な知識の習得と行動変容のための機会の提供ができました。また、個別及び集団に対して必要な支援及び助言を行うことで地域全体の健康増進につながったと考えられます。
- 介護給付・訓練等給付費支給事業 3億5,549万円
・障害者自立支援法に基づいて介護給付費や訓練等給付費を支給することにより、障がい者の自立や社会参加の促進が図られました。
- セーフティネット支援対策等事業263万円
・多重債務や悪質商法及び生活困窮など住民からの相談に的確に対応できる体制を整備することで、相談情報などのノウハウを蓄積することができ、より迅速な問題解決への支援をすることができました。
- 妊産婦医療費給付事業 1,949万円
・医療を受ける機会が多い対象者に対して、医療費を助成することによって、母体の健康保持に努めることが出来るとともに家庭の経済的負担の軽減が図られました。
- 乳幼児医療給付事業 6,078万円
・子育て期の中で比較的医療を受けることの多い乳幼児の医療費を助成することにより、乳幼児の健全な育成、乳幼児死亡率の減少と家族の経済的負担の軽減が図られました。
- 母子家庭医療費給付事業 1,973万円
・比較的所得の低い母子家庭に対して、医療費を助成することによって経済的負担の軽減が図られました。
- 予防接種事業 5,092万円
・麻疹及び風しん予防接種とBCG予防接種は未接種者に対する個人通知による接種勧奨を定期的に行い、接種率の向上につながりました。
- 保育対策等促進事業 3,461万円
・多様化する保育ニーズを踏まえ、通常保育の範囲を超えた事業(一時保育事業、休日保育事業、病児・病後児保育事業)を実施し、児童福祉の向上が図られました。
- 保育所運営委託事業 12億463万円
・村内13の認可保育園に対して保育活動を確保するため保育所の運営を委託しました。対象となる児童は、定員として1,080人でした。



子育てにやさしい滝沢村に

工藤 良幸さん
(大釜)

滝沢村に転居してちょうど二十年になります。自然環境や交通アクセスには満足しています。

地方自治に期待するのは、最も身近な問題の福祉、教育、雇用です。

現在、子育ての真っ只中ですが、乳幼児医療の完全無料化など、子育てにやさしく、命を大切にする滝沢村であることを期待します。



21年度国民健康保険特別会計決算 反対討論

武田 猛見議員

国民健康保険は、国民皆保険であり、最近ではセーフティネットの役割としても重要な保険であります。資格証明書の発行により無保険状態をつくるべきではありません。むしろ、生活困窮者や低所得者に対する対策こそ求められていますが、そのような検討がなされなかったことは残念であります。

また、財政面で見ましても数年前に3回税率引き上げにより、18年からかなりの額が繰り越されており、20年度の基金積み立て2億円、21年度の大幅な繰り越しを見込んだ時点で、低所得者対策及び税率の引き下げも検討できたと考えます。

そのような検討をされた様子もなく、住民のくらし優先に考える重要度が明確ではありませんでした。よって、国保会計の認定に反対します。

反対討論

武田 俊和議員

今回の決算審査、監査意見書を見ますと、留意・改善を必要とする事項に係る内容がここ数年、例を見ないほど数多く指摘されております。

本村職員は、5万3千村民の信頼のもと、他自治体に比べ、小数精鋭で日々住民サービスの向上や福祉の充実、安全、安心の社会形成等々に頑張っていると考えます。

しかし、決算審査、監査意見書を見ると大変残念に思うのは私だけではないと思います。村長は、今までのように職員を教育、指導し、統率を図ってきたものが、疑問に思うものであります。よって、認定に反対します。

ための各施策であり、役場が住民のニーズを先取りできる存在になるような政策も見られました。国、県の政策にも柔軟に対応した財政運営にかなり配慮が見られる予算執行であり、村民に理解をいただける21年度決算であったと判断をいたします。よって、認定に賛成します。